

令和2年度 学校関係者評価

※評価の基準 4：十分達成された 3：概ね達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない

評価項目	評価指標	学校自己評価コメント	令和2年度自己評価	令和元年度自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
1 障害が えいた の専 門態 性や の特 高性 い等 教育	1-① 児童生徒や保護者のニーズに応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用している。	○ 校内LANを活用した教材の共有化を図るため、教材の収集と整理ができた。 ○ 学習・生活指導の充実と業務のスリム化とのバランスを考えながら、今後も改善に努めていきたい。 ● 学級経営に必要な研修の機会がほとんど得られなかった。	3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.3)	・コロナ禍であるが、学校経営を行う上で様々な工夫がなされていることがわかった。 ・多くの教材教具が共有化され、業務のスリム化が行われていることがわかった。 ・教材だけでなく知識や技能を共有することも大切だと感じている。
	1-② 根拠に基づく指導が行われるよう、実態把握や指導計画の作成、評価を行っている。		3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.3)	
	1-③ 学習効果を高めるために教材教員の工夫や改善を行っている。		3 (3.3)	3 (3.3)	3 (3.2)	
2 組織 的な 課題 柔軟 に性 対応 した 教育 的	2-① 学校、家庭、寄宿舎が連携して効果的な指導を行っている。	○ コロナ対策による夏期の選択研修は短い内容ではありましたが、有意義だった。 ● 研修は基本的に個人の教育現場の問題意識に基づいてやるもので、全職員の研修したいことを保証すべき。 ● 研修の機会が少ない。今後は(コロナ対策を実施した上での)職員研修の在り方を模索しながら、実施していく必要性を感じる。	3 (3.1)	3 (3.2)	3 (3.1)	・寄宿舎や家庭との連携ができている、成長を感じる、卒業後も相談できる場があり、安心感がある。 ・コロナ対策をとりながら行う職員研修は難しいものがあったと思う。
	2-② 課題研究の内容は適切で、今後の指導に役立てるための研究になっている。		3 (3.1)	3 (3.1)	3 (3.1)	
	2-③ 職員研修の内容は適切で、専門性や資質の向上を図っている。		3 (3.1)	3 (3.1)	3 (3.0)	
3 小中 高一 貫した キャリア 教育	3-① 児童生徒の自立と社会参加を目指し、小中高一貫したキャリア教育の推進している。	○ キャリア評価表の活用や計画的に進路指導を行えた。 ● 保護者には進路部が早い時期から啓発を行っているが、ニーズが多様化し、学校だけでは解決が困難なケースも多い。 ● キャリア教育について、学校全体として取り組まなければならないという共通認識や取組が必要である。	3 (2.9)	3 (2.9)	3 (3.0)	・中学部生が高等部を見学するなど、小中高の児童生徒の交流の機会については今後も充実させてほしい。 ・コロナの影響で実習が実施できなかったようだが、よく考えて指導されている。 ・卒業後の金銭管理について、在学中に学習する機会を増やしてほしい。
	3-② 個々のニーズに応じた進路指導や進路相談等を行っている。		3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.0)	
	3-③ 保護者や関係機関と連携した進路支援の充実を図っている。		3 (3.1)	3 (3.2)	3 (3.0)	

令和2年度 学校関係者評価

※評価の基準 4：十分達成された 3：概ね達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない

4 地 域 報 か の ら 発 信 及 び 保 護 者 学 校 や づ く り	4-① 地域の資源や人材を生かした学習活動に取り組んでいる。	<p>○ コロナウイルスの影響で直接交流はできなかったが、ビデオレター等の間接交流をできる範囲で実施することができた。</p> <p>● 会場確保・予算確保・日程調整など、厳しかった。ICTを活用し、リモートでの交流活動も検討する必要がある。</p>	3 (2.8)	3 (2.7)	3 (3.0)	<p>・コロナ禍であるが、感染拡大防止対策だけでなく、学校行事の設定や実施について工夫が見られる。(交流教育のビデオレターなど)</p>
	4-② 保護者や地域に学校の取組や必要な情報を伝えている。		3 (3.0)	3 (3.1)	3 (3.0)	
	4-③ 近隣の小中学校等との学校間交流や居住地校交流を推進している。		3 (2.9)	3 (2.9)	3 (3.0)	
5 の 地 域 の セ ン タ ー 特 別 的 支 援 能 力 教 育	5-① 地域の小・中学校等に特別支援教育に関する相談や情報提供を行っている。	<p>○ チーフコーディネーターや指導教諭、主幹教諭等の尽力で、外部機関との連携がとれていた。</p> <p>● 困難ケースへの早期介入支援と準備に努め、医療機関を含めた専門機関との連携強化を進める必要がある。</p>	3 (3.1)	3 (3.0)	3 (3.0)	<p>・学校ホームページを利用した保護者向けの情報発信が行われていることは評価できるが、地域のセンター的機能としての情報発信や支援強化すべきでないか。</p>
	5-② 福祉や医療機関等、関係機関との連携を図っている。		3 (3.1)	3 (3.2)	3 (3.0)	
6 の 安 全 備 ・ 安 心 な 教 育 環 境	6-① 施設や設備は安全に管理・維持されている。	<p>○ 施設設備の点検を定期的に行っており、安全な学校環境の維持に努めている。</p> <p>● 児童生徒の災害用バッグ、職員の災害用バッグの準備が不十分。内容物についても基準を統一すべき。</p> <p>● 不審者対応の避難訓練を行った方が良い。</p>	3 (3.0)	3 (3.1)	3 (3.0)	<p>・保護者も参加する避難訓練(引き渡し訓練)や備蓄については今後も実施してほしい。</p>
	6-② 災害や不審者対応等、緊急時の対応が整備されている。		3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	